

## 200 個の“おもてなし”を寄贈

～希少なオークラチューリップを園児らが植え付け～

10月30日(火)、オークラフロンティアホテル海老名(海老名市中央、総支配人 服部 崇)が、「オークラチューリップ」の球根 200 個を海老名市に寄贈した。

このチューリップは、ホテルオークラアムステルダムが世界最大のチューリップ園・キューケンホフ公園(オランダ)に依頼して、異種交配の末生まれたオークラのオリジナル品種。

「永遠の愛情、思いやり、おもてなし、正直」が花言葉で、地域に愛されるホテルづくりをめざすオークラフロンティアホテル海老名が、友好の証として平成 21 年から寄贈を行っており、今年で3回目を迎えた。

寄贈は海老名中央公園で行い、その後、市内の幼稚園児 98 人が参加して同公園内で植え付けを実施。球根を受け取り、スコップで穴を掘り、一個ずつ丁寧に植えていった。

園児からは「綺麗な花が咲くのが今から楽しみ」「来年もまた植えたい」などの声が聞かれた。

当日植えたチューリップは来年4月ごろ朱色の花を咲かせる予定。



左/オークラフロンティアホテル海老名 総支配人 服部崇(はっとり・たかし) 右/海老名市長 内野 優(うちの・まさる)  
植え付けをする園児たち

### ◎この件に関する問い合わせ

オークラフロンティアホテル海老名 総支配人室 営業企画・村上  
(電話046-235-9823)

海老名市まちづくり部 住宅公園課 (電話046-235-9489)